

世界ゲートボール26日開幕

新潟流おもてなし 熱戦演出

20カ国・地域96チーム出場

世界ゲートボール連合の遠藤容弘理事長らは16日、県庁で会見し、本県で初めて26日に新潟市で開幕する世界ゲートボール選手権の概要を発表した。28日までの日程で20カ国・地域から96チーム、約700人の選手が出場する。

概要発表

大会は4年に1度開かれ、新潟大会で11回目。4チームを1グループとして24グループに分かれ、リーグ戦を行う。各グループの1位が決勝トーナメントに入った。大会では選手らにコシヒカリの新米でおにぎりを振る舞う予定。県ゲートボール連盟の若林静子理事長は「本県の魅力を生かしたおもてなしをして、外国人選手に新潟を好きになってほしい」と話した。

ベテランの経験が強み

ザ・新津 (新潟秋葉区)

初の世界選手権出場を果たした「ザ・新津」=14日、新潟市秋葉区

まった。過去に02年の富山大会と10年の上海大会で8強に進んだ実力を持つ。上海大会で4強を占めた中国勢に打ち勝つ技術力を磨いている。30代前半が中心と若い選手が多く、世界選手権には20代から40代の選手8人が出場。全員が働きながらのため練習時間は週末などに限られるが、キャプテンを務める新発田市の那須野智広さん(30)は「メンバー同士、性格や癖も分かり、チームワークの基盤は出来上がっている。8強の壁を破って優勝を狙いたい」と話す。

世界選手権は海外勢を中心に20、30代の若い選手が多い。「ザ・新津」は60代後半から70代の男女6人で、ゲートボール人気が全盛期だった1990年ごろに競技を始めたベテランばかりだ。

本県から2チーム参加

3回目の世界選手権出場を果たしたクラブチーム「TKE」=15日、新潟市西区

第11回世界ゲートボール選手権には本県から2チームが出場する。3回目の出場で初の4強入りを目指す「TKE」と、ベテランで構成し推薦で初出場を果たした「ザ・新津」。両チームは「チームワークを發揮して優勝を狙う」

TKE

(クラブチーム)

8強の壁破り頂点狙う

「TKE」は新潟市西区を中心に活動するクラブチーム。2013年の全日本選手権で準優勝し、世界選手権出場が決まる。監督の永井守さん(73)は「若い時期から世界の舞台を経験することで、チーム力の向上につなげてほしい」と期待を込める。「ザ・新津」は新潟市秋葉区のゲートボール合に臨みたい」と話した。

